

情報公開用文書

令和2年4月1日～令和4年9月30日に当院ICUへ入院された方へ

看護研究「重症患者に対する早期経腸栄養アセスメントと栄養アウトカムに関連性」へのご協力をお願い

1, 研究(調査)の目的と概略

日本版重症患者の栄養療法ガイドライン2016年版より、「重症病態に対する治療を開始した後、遅くとも48時間以内に経腸栄養を開始することを推奨する」との指針があります。これに則り、当院ICUでも入院後できるだけ早く食事を摂っていただくか栄養剤の注入を開始するようにしていますが、まだ研究報告が少なく根拠としては不十分です。そのため、当院ICUでも早く栄養を摂ることによってどのような影響があるのか明らかにしたいと考えています。

2, 研究(調査)の方法

ICUへ入室した患者様の背景(年齢、性別、体重、体格、入院理由となった病名)、栄養の評価(摂取及び目標エネルギー量、ICU入室してから栄養を開始するまでに要した時間)、予後情報(ICU在室日数、在院日数、生存率)など臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。

3, 調査期間

調査期間 令和2年4月1日から令和4年9月30日まで

4, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記期間にICU入室前24時間以内、もしくは入室後48時間以内に人工呼吸を開始し、72時間以上ICUに滞在した18歳以上の患者様です。

5, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

6, お問い合わせ先

徳島県立中央病院 ICU

研究責任者 坂東加奈子

研究者 笹野竜矢

〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3

電話番号 088-631-7151 (代表) (内線: 3441)